

2018(2017年度) 安全報告書



銚子電気鉄道(株)

1. ご あ い さ つ

日頃より銚子電気鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社では「輸送の安全確保」を最も重要な事項として経営理念の第一に掲げ、安全・安心・楽しいサービスの提供を標榜し、安全規範の順守に努めております。

さて、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや事故等の発生状況についてご報告するものです。本文記載の通り、2017度におきましては、鉄道運転事故は発生しませんでした。有責による輸送障害輸送障害（30分以上の遅延や運休）が2件発生し。ご利用されるお客様に多大なご不便をお掛けいたしました。ここに深くお詫び申し上げます。

当年度においては、安全重点施策として、国、千葉県、銚子市からの協調補助を受けつつ軌道更新（レール及びまくら木更新、道床交換等）及び踏切設備等の修繕工事を計画的に実施致しました。

当社では2013年に長期的な経営改善計画を策定し、鉄道事業存続に向けた取り組みを続けているところです。当該計画策定直後の2014年1月、脱線事故が発生したことは痛恨の極みであり、爾後「事後保全から予防保全への意識転換」を旗印に、輸送の安全確保が鉄道存続の必須条件であることを全社員が強く認識し、安全確保に向けた意識と情報の共有に努めております。

今後共、保安監査及び運輸安全マネジメントを基軸とした国交省関東運輸局の指導の下、「輸送の安全の確保」を至上命題として、社員一同力を尽くして輸送の安全性の向上に取り組んでまいりますので、引き続き銚子電気鉄道をどうぞよろしくお願いいたします。



銚子電気鉄道株式会社

代表取締役社長 竹本 勝紀

2. 基本方針と安全目標

(1) 安全基本方針

当社の基本方針は、「安全・安心・楽しいサービス」を提供することをモットーに社長以下全社員に対し次の通り安全に関する規範を定め、情報の共有化徹底を図っています。

- ① 一致団結し輸送の安全の確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全適切な処理をとる。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

2017 年度の安全目標は次のとおりでした。

- 鉄道運転事故・・・事故 0

教育訓練及び P、D、C、A 体制の確立を行っております。

- 輸送障害・・・発生 0

- インシデント・・・発生 0

未然に防ぐ（ヒヤハットの情報収集）対策を行っております。

2017 年度は、有責による輸送障害が 2 件発生致しました。今年度は従業員一同、運転事故、インシデントを発生させないことを目指し、目標達成に向けて取り組んでまいります。

3.事故の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2017 年度は発生していません。過去 5 年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者数の推移は次のとおりです。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
事故件数	1	0	1	0	0
死傷者数	0	0	1	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害（大雨や台風など）

台風による運休が 2 件、大雨による運休が 1 件、ありました。内容は、以下のとおりです。

- 台風の影響では、2017 年 10 月 22 日に台風 9 号の大雨の影響により線路が冠水した為、19 本の列車を運休しました。翌日 23 日も停電の為、終日運転を見合わせました。
- 大雨の影響では、2018 年 3 月 9 日に 19 本の列車を運休しました。

(3) 輸送障害（30 分以上の遅延や運休）

2017 年度は 2 件発生しました。主な内容は以下のとおりです。

● 架線支障（2017 年 10 月 14 日 18 時 57 分発生）

下り列車が外川駅構内分岐器付近において、架線支障が発生しました。この影響により 4 本の列車が運休しました。

● 車両故障（2017 年 11 月 27 日 8 時 01 分発生）

下り列車が犬吠駅発車の際、起動できなくなりました。この影響により 4 本の列車が運休しました。

(4) インシデント（事故の兆候）

2017 年度は発生していません。

(5) 行政指導など

2017 年度はありませんでした。

4. 安全重点施策と 安全確保のための取り組み

(1) 安全重点施策

国、県、市からの設備の修繕、維持、更新にかかる経費を算出根拠とする鉄道軌道輸送対策事業補助金をもとに車両導入、軌道及び踏切設備等の安全にかかわる投資は次のとおりの結果です。

● 踏切保安設備（遮断機）更新工事

浅間台踏切、長崎踏切の老朽化した踏切遮断機の更新を致しました。



浅間台踏切遮断機更新 施工前



浅間台踏切遮断器更新 施工後



長崎踏切遮断機 施工前



長崎踏切遮断機 施工後

● 土留め及び側溝新設工事

君ヶ浜～犬吠間の土留め、側溝を設置致しました。軌道上に土砂等が入りにくくなり、より安全に列車運行を行うことができます。



施工前



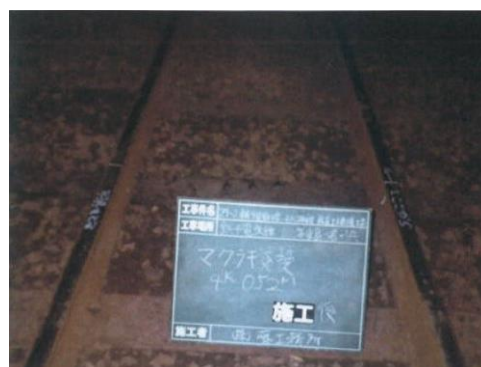
施工後

● 木マクラギ更新工事

西海鹿島～君ヶ浜間の老朽化した木製まくら木(100本)を同種交換し実施致しました。



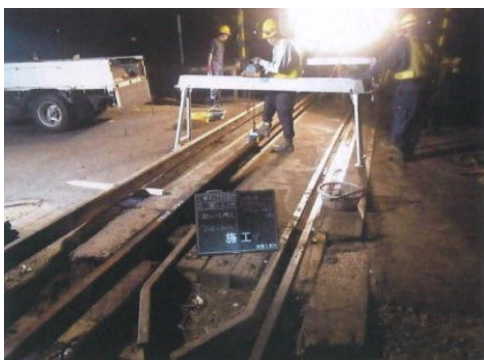
施工中



施工後

● レール更新工事

犬吠駅踏切内と踏切前後のレール交換を実施致しました。



施工中



施工後

●道床交換工事

君ヶ浜～犬吠間と本銚子駅付近の道床交換工事を実施し路盤を強化致しました。



君ヶ浜～犬吠間 施工前



君ヶ浜～犬吠間 施工後



本銚子駅付近 施工前



本銚子駅付近 施工後

●架線電柱交換工事

銚子～仲ノ町間と笠上黒生～西海鹿島間の架線電柱を木製からコンクリートへ更新致しました。



銚子～仲ノ町間 施工前



銚子～仲ノ町間 施工後



笠上黒生～西海鹿島間 施工前



笠上黒生～西海鹿島間 施工後

●車両の重要部検査の実施

重要部検査とは、走行装置、ブレーキ装置などの主要な部分を解体しておこなう定期検査です。検査周期を迎えた2編成4両について重要部検査を行いました。

(2) その他

● 添乗・巡回指導の実施

春季および年末年始に安全統括管理者、運転管理者による添乗・巡回指導を実施し改善点を指示しました。

● 人材教育

運転、駅、車両、施設の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実、技術技能の向上に努めています。

○緊急時行動マニュアルの理解と避難誘導の習熟



○緊急時合同訓練（テロ対応）



● 各種研修会・講習会への参加

関東鉄道協会、日本鉄道車両機械技術協会などが開催する研修会、講習会に参加し、業務知識の向上、技術情報の取得に努めています。習得した知識は鉄道部会等で発表、報告しています。

○保線土木技術者向け講座

○地方鉄道の車両保守における技術継承研修会

○技術継承支援研修（運転）

○保線土木技術者向け講座

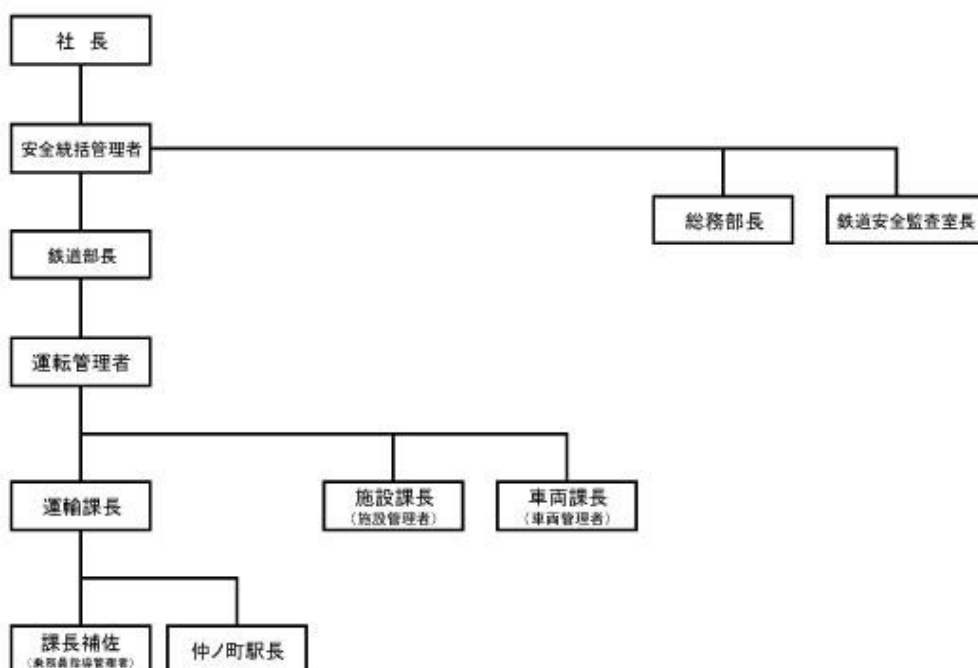


6. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

安全管理規程をもとに、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全の確保に関する体制



役 職	役 割
社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 鉄道部長	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 鉄道部運輸課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者 鉄道部施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 鉄道部運輸課長補佐	安全統括管理者の指揮の下、乗務員に関する事項を統括する。
車両管理者 鉄道部車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(2) 安全管理の方法

●内部監査制度

鉄道事業の安全管理体制の強化と、運輸安全マネジメント制度の運用状態の確認のため、内部監査を実施しました。内部監査は、鉄道事業に関する業務が関連法令や、安全管理規程、その他の社内規程類との適合、及び安全管理体制の有効性を確認するためのものです。経営トップ、安全統括管理者、各責任者へのインタビューと書類の確認などにより監査し、その後の改善に活用しています。

●鉄道部会

鉄道部会は、鉄道部内の情報共有や、問題点の把握、改善の検討、経営トップからの指示などを目的に毎月開催しております。部員からの問題提起や、ヒヤリ・ハット情報の共有など、安全管理体制の向上に努めております。



鉄道部会の様子

お問い合わせ先

銚子電気鉄道株式会社 鉄道部 TEL：0479-22-0316

E-mail：info@choshi-dentetsu.jp